

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	教授
氏名	辻 爾志		
NAME	Chikashi Tsuji		

## 1. 研究課題

（和文）金融・資本市場の計量的分析手法に関する研究

（英文）A Study of Econometric Methods for Analyzing Capital Markets

## 2. 研究期間

2年間（2017～2018年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究の研究目的は、金融・資本市場を分析するための複数の計量的分析手法について、近年の進展状況を正確にフォロー・整理しつつ、新しい計量的分析手法とその応用事例を提示することであった。これらの研究目的に基づき、国際的な金融・資本市場に関して応用可能な計量的分析手法に焦点を当て、2年間の研究期間で研究を推進した。

その結果、主たる成果として（1）多変量型の計量モデルに構造変化を取り込んだモデルを提示し、米国及び日本の株式市場において当該モデルの応用事例を提示した。さらに、（2）構造変化とボラティリティのスピルオーバーを同時に取り込んだ多変量型の計量モデルを提示し、米国及びカナダの株式市場において当該モデルの応用事例を提示した。以上、上記のような結果・成果について適宜論文としてとりまとめた結果、複数の論文が本研究の研究成果として採択・公刊予定等となった。

（英文）

The objective of this study is to present new econometric methods for analyzing capital markets, and demonstrate the application results of the methods. Quantitative analyses of this study derived the following achievements. First, this study exhibited a new multivariate quantitative model incorporating structural breaks of asset returns, and showed its application results in the US and Japanese stock markets. Second, this study further presented a new multivariate quantitative model incorporating both structural breaks and volatility spillovers of asset returns, and demonstrated its application results in the US and Canadian stock markets.